

SUNSHINE

第50号 2010年 8月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/

太陽開発

検索 クリック!!



賃貸マンションをご紹介します!

内村ビル

今回ご紹介させて頂くマンションは、荒田2丁目にある「内村ビル」という物件です。

1階は3DKのお部屋、2階から4階は1Kのお部屋となっています。このマンションの最大の魅力はペットが飼えることです!!(犬・猫ok)荒田地区でファミリータイプのペット可物件は非常に少ないです。1Kのお部屋は、全部屋、広々洋室10帖以上、3DKのお部屋は窓が多く日当たり抜群です。

立地も良く、騎射場電停・バス停まで徒歩3分、コンビニ・タイヨー・ドラッグストア・郵便局・各種銀行など、すべて徒歩圏内に揃っているのもこの物件の魅力です。

現在、3DKと1K一部屋ずつ空室となっています。



今年、大学生の息子が就職を決めたということで、一冊の本を渡しました。タイトルは『人は仕事で磨かれる』という、前伊藤忠商事社長の丹羽宇一郎氏が書いた本です。内容は「働くことの意味は何か」「仕事と人生」について、自分の体験を通して語ったものです。その中でいくつかの文章を拾い上げました。

①「大人になって仕事をせず一体どうやって人間として成長していくか、という非常に難しい。辛い仕事を通して、自分が成長していく、それが仕事の見えざる報酬である。見える報酬よりも、見えざる報酬を人間というものは基本的に求めるべきである。」

②人間の能力に個人差は無い。困難に打ち勝って、物事を解決するには、読書を重ねていき、とにかく諦めない事。能力というのは、徐々に開花するのではなく、ある日どんとジャンプするものである。諦めてしまったら成功は永遠に無い。

③「汗出せ、智恵出せ、もっと働け」と丹羽氏は主張しています。今時、こんな言葉をズバリ話す人は少ないと思います。理屈をこねていないで、頭と体を精一杯使って前へ進めということだと思います。私共は人生の大半を仕事に費やして生きています。一般的には朝より夕方まで働いています。しかし、その中で、成果の出る人、出せない人、与えられた目の前の仕事に一生懸命打ち込んでいる人、いつも仕事に不満を持っている人、人生の夢、目標を持っている人、いない人、置かれている立場、条件はそれぞれ違っていても、みんな同じ時間の中で生きています。

息子もこれから、社会に出て、理不尽な事や、いろいろな困難にぶち当たるかもしれませんが、上記の文章を参考にして、逃げずに、どうやったら問題を解決して前に進めるのか、問題解決能力を身に付けてほしいと願っています。

騎射場探訪

KITCHEN BAR SOUKA 烟花

弊社がお世話になっている「騎射場」周辺のお店のご紹介!!

常連さんイチオシ!!



鶏の唐揚げ



さのこことベーコンの和風パスタ (麺はうどんです!!)



烟花うどんサラダ (うどんに「薬」もあります)

今回ご紹介させていただく騎射場の居酒屋さんは、「KITCHENBAR 烟花」さん!! 店長の「羽山さん」は、以前、当社でお部屋や駐車場を借りていただいたお客様です。今流行りのデザイナーズマンションにお住まいになられています★

2年半前にオープンされた「KITCHEN BAR 烟花」さん!! お店の内装はとてもオシャレで、個室はもちろん、テーブル席カウンター席も充実!! 気になる、フードメニューはというと・・・「うどん」を使った創作料理が自慢なのだそうです。

店長さんが試行錯誤され、考案されたメニューには、うどん屋さんにあるものに付け加え、パスタ屋さんにあるメニューで、麺はうどん!!という新感覚を味わえるメニューが多数あります。少し細めのうどんであらかく、老若男女どんな方でも食べやすいです。値段もリーズナブルで季節に依るメニューも期間限定でお出しするそうです。よサラリーマンの方はもちろん学生さんも多く来店されるそうです。

なぜうどんにこだわったのか? お聞きすると、以前、天文館の「そば屋さん」で下積みされていたそうで、自分の出す店も、また「そば」では面白みに欠けるとのことで「うどん」にしたのだそうです☆

そんな、烟花さんの常連さんがイチオシされるメニュー、うどんの創作料理ももちろんのこと、お肉にしっかりと味付けされた「鶏の唐揚げ」だそうです。皆さんも、ぜひ行かれた際は一度食べて見られてください!! とても美味しかったですよ～(☆o☆)



KITCHEN BAR SOUKA 烟花
 住所: 鹿児島市荒田2丁目75-15-1F
 TEL・FAX: 099-206-6871
 営業時間: (日)～(木) 18:00～翌1:00
 (金)・(土) 祝日前日 18:00～翌3:00
 収容人数40名



今月の一冊 イン・ザ・プール 奥田英朗



「精神科医・伊良部一郎」シリーズはこれ以外に「空中ブランコ」「町長選挙」がありますが、今回は表紙が涼しげな本作品を取り上げてみました。

「いらっしゃ〜い」。伊良部総合病院地下にある神経科を訪ねた患者たちは、甲高い声に迎えらる。色白で太った精神科医の名は伊良部一郎。そしてそこで待ち受ける前代未聞の体験。プール依存症、陰茎強直症、妄想壁……訪れる人々も変だが、治療する医者の方々がもっと変。こいつは利口か、馬鹿か? 名医か、ヤク医者か?

1959年、岐阜県生まれ。プランナー、コピーライター、構成作家を経て、作家に。2002年に『邪魔』で第4回大藪春彦賞、04年に『空中ブランコ』で第131回直木賞、07年に『家日和』で第20回柴田錬三郎賞、09年に『オリンピックの身代金』で第43回吉川英治文学賞受賞。

奥田英朗の作品の紹介は『東京物語』『ガール』に続き、三作品目です。実はこの前に読んだ『ラビバ』もとても面白く、紹介したかったのですが、あまりにも下ネタ満載だったので、断念しました。(と言うのを聞かれて興味を持たれた方は是非お読み下さい。お勧めです。『イン・ザ・プール』はここで紹介しても支障が無い位の軽い下ネタも楽しい作品です。五つの読みきりのお話で構成されていて読み易いです。全編で伊良部一郎のハチャメチャ治療が全開で、楽しめますよ。本作品は、松尾スズキ主演で映画化もされています。まだ見ていないのですが、是非見てみたいです。第2弾の『空中ブランコ』は直木賞も受賞、こちらは阿部寛主演でドラマ化されています。